

市制施行80周年記念のロゴマークと キャッチフレーズを決定しました

ロゴマーク

2021年7月1日から7月30日までの間、市内外の全ての人を対象にロゴマークの募集を行い、91件の応募をいただきました。

厳正な審査の結果、右記の作品をロゴマークに決定しました。

■**作品の説明** 市制施行80周年の80をモチーフとし、擬人化しました。つなぐ80は無限大もイメージし、将来像である人がつながる未来都市を表し、市の花「梨の花」を飾り、市の鳥「シロチドリ」を掲げ、荒尾市80周年を発信しています。

■**採用者** 天野 穂積さん 静岡県静岡市在住 68歳

■採用作品



キャッチフレーズ

2021年7月21日から8月31日までの夏休み期間中、市内の中学校に通学する2年生を対象にキャッチフレーズの募集を行い、108件の応募をいただきました。厳正な審査の結果、右記の作品をキャッチフレーズに決定しました。

■採用作品

「80年の思いを胸に ずっと守ろう 私たちの荒尾」

■**作品の説明** 自分達のまちは、自分達で守ろうという思いが込められています。

■**採用者** 三小田 流維さん 三中2年

地域の活動掲示板

荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

カライモ販売会



9/26 SDGs.15 「陸の豊かさを守ろう」
府本地区協議会

府本地区協議会は、金山下区の畑でカライモ販売会を開催しました。当日は多くの方が訪れ、準備していた約500袋(約4.5kg入り)が完売しました。同協議会では地域の活性化と遊休農地の活用を目的に栽培を開始。今では市内はもちろん、市外の人にも味の良さが評判となり、毎年たくさんの人たちが購入しています。

歩け歩け大会



10/17 SDGs.3 「すべての人に健康と福祉を」
緑ヶ丘地区協議会

緑ヶ丘地区協議会は、シニア向けの健康増進と交流を目的に、歩け歩け大会を開催しました。参加者は緑ヶ丘小学校に集合し、万田坑までを目的地とした、約6kmのコースを歩きました。当日は天気も良く、絶好のウォーキング日和となり、参加者は久しぶりの交流を楽しみながら、万田坑への理解を深めました。

まちの話題

Arao City News

荒尾市の気になる話題をお届け!

10/15

子どもたちの長寿と幸福を祈願 野原八幡宮秋季例大祭

1カ月前七五三としても知られる野原八幡宮秋季例大祭(通称:のばらさん)が開催。今年も感染防止対策として風流と節頭は中止となり、神事のみ行われました。天気にも恵まれ、境内には色とりどりの着物を着た子どもたちの笑顔が溢れていました。関係者は「早くコロナが収束し、風流と節頭が出来るようになって前の賑わいを取り戻したい」と話していました。



岱志高生「くまもと『描く力』」 チャレンジ部門 崇城大学賞受賞

熊本日日新聞社主催の美術公募展で、岱志高校の植山 和香さんが、頂点の崇城大学賞に輝きました。タイトルは「無題」。キャンパスに見立てたダンボールに、さまざまな画材などで独創的なコラージュを施し、エネルギーに満ち溢れています。植山さんは、「3年間で学んだ技法で自分らしさを表現した。長時間かかったので、達成感も大きかった。卒業後もたくさんの作品を創っていきたい。」と語りました。作品は12月5日(日)まで熊本県立美術館分館に展示。



3年 植山 和香さん
岱志高校美術工芸コース

9/30

保健・福祉・子育て支援施設(仮称) 基本計画(案)が答申されました

「保健・福祉・子育て支援施設(仮称)基本構想等策定委員会」の田中委員長と塚本副委員長から、「保健・福祉・子育て支援施設(仮称)基本計画(案)」が答申されました。本市のさまざまな課題の解決や市民のニーズに応じた施設となるよう、機能や整備・管理運営などの方針を定めたものです。答申を受け、市では保健・福祉・子育て支援施設(仮称)基本計画を策定し、具体的な施設整備を検討していきます。



9/29
30

荒尾梨、おいしかったよ! ～デザート梨の日～

市内小中学校の給食に、市産の荒尾梨「新高」が出され、甘くてみずみずしい秋の味覚を子どもたちが堪能しました。地元の特産品を通じて食文化への理解、食育のため、「デザート梨の日」として毎年実施。今年はJAたまな荒尾梨部会より770個の梨が贈呈されました。給食を食べた子どもたちは、「甘くてシャリシャリしている」「梨、大好き」「美味しい梨を作ってくれてありがとうございます」と嬉しそうに話していました。



第5回 あらお花風景写真 コンテスト結果発表

市内では美しく手入れされた色鮮やかな花壇やお庭などの花風景を見ることができます。そんな美しい花風景を知っていただくため、「第5回あらお花風景写真コンテスト」を実施しました。

最優秀賞 花のじゅうたん

みぎた てつや
右田 哲也さん
撮影場所:万田中央地区花壇(万田中央体育館横)



優秀賞 おもやい市民花壇

なかむら あきと
中村 明人さん 撮影場所:おもやい市民花壇



優秀賞 色彩豊かな春ツツジ

ながおか てるき
永岡 照基さん 撮影場所:自宅の庭

優秀賞 春の彩り

たじま しゅういち
田島 衆一さん 撮影場所:東宮内公民館

たくさんのご応募
ありがとうございました!

応募作品は、市のホームページと荒尾シティ
モール内掲示板(市民サービスセンター前)
に掲載していますのでご覧ください。

いきいき 企業 vol.47

いきいき社員 Interview

五木食品株式会社 荒尾工場

高森興産(株)として創業し、60年にわたり丹精込めて製造した商品は地元の味としてすっかり定着。令和元年に五木食品(株)荒尾工場となってからも味を守り、海外でも人気です。今回は中堅でがんばる緒方さんにお話を聞きました。

「何度でも食べたくなる
メイド・イン荒尾の味を」



Profile
おがた たけひと
緒方 健人さん
(29歳)
2016年5月入社
宇城市出身
熊本学園大学卒

何をしている会社?
この地で素朴な味を追求してきた荒尾工場の食品は、ロングランを続けるなじみの商品ばかり。発売から50年以上愛されているマルメイナポリタンをはじめ、焼きそば、うどん、粉末液体スープやところてん、さらには寒天やデザートまで、いつもスーパーの店頭と並んでいる多彩なラインナップがわが社の自慢です。
販売エリアは沖縄から北海道まで、さらにアジアやアメリカを中心に海外にも展開。美味しい、安全な商品を世界に届けています。

この会社を選んだ理由は?
子ども時代、お弁当によくマルメイナポリタンが入っていました。大学時代はアベックラーメンばかり食べていましたし、当社の味にはずっとお世話になっていたイメージです。そんな親しみと安心感から、この会社で働きたいと思い、入社しました。

現在の業務は?
当初からスープ部門で粉末や液体の原材料を調合しています。分量の正確さはもちろん、製造は段取りが命。現場の業務を細かく時間配分し、スムーズに進むよう工夫を重ねています。10月からはサプリーダーを任せられるようになり、自分の持ち場だけでなく全体の流れの把握にも努めています。

職場の雰囲気は?
スープ部門は少人数の部署ですが、力仕事で工程数も多く、最初は大変でした。でも先輩方が細かくサポートしてくれたので、早く作業に慣れることができました。また、「残業を出来るだけしない」が工場の基本方針なので、アフターファイブに先輩と出掛けたりして、楽しみも多いですね。

やりがい? 目標は?
やっぱり苦労して作った商品が店頭と並んでいると、とても嬉しいです。今後は現場だけではなく、より広い視野で学びを深め、愛される荒尾の味を盛り上げていきたいです。



管理職の言葉

グローバルに活躍できる人材に

くままる よしたか
統括次長 熊丸 嘉隆さん

緒方さんはとても聡明で明るい性格なので、みんなを上手にまとめてくれています。根が真面目ですし、伸びしろを感じますね。今後は全体の業務を把握し、ゆくゆくは会社の中心としての活躍を期待しています。

採用試験は筆記と面接です。当社は日本のみならず、海外まで幅広く展開していますので、大きな展望を持って、がんばれる人材を待っています!



会社概要

【荒尾工場】荒尾市増永2800番地2 ☎64-1111

- 製造業
- 従業員数 61人(内正社員31人)
- 資本金 9,500万円
- 事業内容 食品の開発・製造・販売など
- 年間休暇日数 105日
- 有給休暇平均取得日数 11日
- 採用実績(採用年度:新卒)
H30:3人 R1:1人 R2:0人
R3:4人 R4:4人予定



考えてみませんか 障がいのこと 共に生きる社会のこと

12月3日(金)～9日(木)は障がい者週間です

障がいがあるために、日常生活で配慮を必要とする人たちがいます。
その人たちの中には、見た目には分かりにくい障がいのために誤解を受けたりする人もいます。
私たち一人一人が気づき、マナーや思いやりを持つことで、誰もが暮らしやすい社会にしていきたいと思います。

☎ 福祉課 福祉係 ☎63-1406 FAX 62-2881

これらのマークを知っていますか

障がい者に関するマークの一部を紹介します。これらのマークを見かけたときは、配慮や支援をお願いします。

障害者のための国際シンボルマーク



障がい者が利用できる建物、施設であることを表すマークです。駐車場などでこのマークを見かけたときは、配慮をお願いします。このマークは車いすを利用する人に限定されるものではなく、すべての障がい者を対象としたものです。

耳マーク



聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。このマークを提示された場合は、相手が「聞こえない」ことを理解し、筆談などコミュニケーション方法の配慮をお願いします。

ほじょ犬マーク



身体障がい者の補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)の同伴を啓発するマークです。補助犬は体の不自由な人の、体の一部となって働いています。補助犬がハーネスを付けているときは仕事中です。触ったり、声をかけたりしないでください。

オストメイトマーク



人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)に対応したトイレを表すマークです。このマークを見かけたときは、そのトイレがオストメイトに配慮されたトイレであることについて、ご理解とご協力をお願いします。

ハート・プラスマーク



身体内部(心臓・呼吸機能など)に障がいがあることを表すマークです。このマークを着用している人の中には、「優先席に座りたい」「近くで携帯電話使用を控えてほしい」などを希望していることがあります。見かけたときは配慮をお願いします。

ヘルプマーク



義足を使用している人、内部障がいや難病の人など外見から分からなくても配慮を必要としている人が、周囲に知らせるマークです。市では、ヘルプマークをデザインしたヘルプカードを無料配布しています。福祉課へ問い合わせください。

認知症高齢者等おでかけ安心事前登録制度

QRコード付き見守りシールを配布します



認知症の人を地域で支える取り組み(警察との連携協定)

取り組み 1 徘徊高齢者登録票がリニューアルします! 認知症などで行方不明になるおそれがある人の情報・写真などを事前登録し、荒尾警察署と共有して迅速に対応できるように連携しています。

認知症高齢者などの安全確保とその家族や介護者の負担軽減、認知症にやさしい地域づくりのため、徘徊高齢者登録票を12月から「**認知症高齢者等おでかけ安心事前登録制度**」に変更します。これまでの警察との連携に加え、希望者にはQRコード付き見守りシールを配布します。シールを高齢者の衣類や持ち物に貼ることで、行方不明などの場合に発見者がそのQRコードを読み取ると家族などへメールが送信されます。インターネット上の掲示板(どこシル伝言板)を使って発見者と家族などがお互いの個人情報を知らせることなく、必要なやりとりを行うこともできます。

シールは無料ですが申請が必要です
すでに徘徊高齢者登録票に登録している人がシールを希望される場合、新たに手続きが必要になります。

市民の皆さんへ



▲QRコード付き見守りシール

このシールが貼ってある人を見かけたら、やさしく声を掛けてQRコードの読み取りなどにご協力ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

取り組み 2 認知症高齢者等安心見守り連絡票 荒尾警察署が把握した認知症など的高齢者情報を養護者の同意のもと地域包括支援センターに提供し、認知症高齢者などの見守りや支援につなげます。

詳しくはお問い合わせください。☎ 地域包括支援センター ☎63-1177

+ Hospital News

市民を愛する 市民に愛される 病院へ

荒尾市民病院からのお知らせ

荒尾市民病院から皆さんへ、さまざまな医療に関する情報をお届けします。

荒尾市民病院
☎63-1115

くまもとメディカルネットワークに参加しませんか

『くまもとメディカルネットワーク』とは…

熊本県内の利用施設(病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護施設など)をネットワークで結び、患者さんの診療・調剤・介護に必要な情報を共有し、医療・介護サービスに活かすシステムです。

熊本県・熊本県医師会・熊本大学病院が連携して推進している共同事業です。

■参加するメリット

災害時やかかりつけ以外の医療機関に救急搬送された場合、緊急措置に従事する医療従事者が患者さんの情報を共有できます。昨年の熊本豪雨災害時には、かかりつけの電子カルテが使用できない、紙カルテが流れてしまったなどの事態が起

きました。しかし、患者さんがくまもとメディカルネットワークに参加していたことで、他院でも診療情報を共有でき、診療に役立ちました。

近年市内でも熊本地震や豪雨による被害がありました。災害はいつ起こるか分からないため、くまもとメディカルネットワークは万が一の備えとしても有効です。



詳細は、くまもとメディカルネットワークホームページをご覧ください▶

【申込・説明】

市民病院1F 相談支援センター ☎63-1115



ハイ! スクール通信

市内高校通信 Vol.27

岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みなどをご紹介します!
地元高校の新たな魅力を発見しよう!



有明高校

自覚と責任

「戴帽式」は看護科2年生の生徒が、病院実習前にナースキャップをもらい、フローレンス・ナイチンゲール女史の誓詞を心に刻む大切な儀式です。コロナ禍でも私たちは医療従事者のおかげで日々生活できています。看護科生(戴帽生)も世の中の人々を支え、救うことのできる立派な看護師を目指し、自覚と責任をもって努力してくれることを期待しています。



有高に新しい風を

来年度高校進学予定の中学生に向けて体験入学を行いました。各学科の授業に参加し、その後は食堂や部活動の体験もしていただきました。みなさん興味を持って意欲的に取り組んでくださり、本校をより知ってもらえるきっかけになりました。来月1月17日に入学試験がありますので、本校の新しい風となってくればと思います。



皆さんの意見を聞かせてください

パブリックコメントを募集!

① 荒尾市DX推進計画(素案)

デジタル技術で市民の皆さんの不便さや課題を解決し、「暮らしたいまち」になるために「荒尾市DX推進計画」を策定します。

期 12月13日(月)~令和4年1月12日(水)(当日必着)

提出先 〒864-8686(住所不要)

文化企画課行革統計係

✉ kikaku@city.arao.lg.jp

☎ 57-7184 FAX 57-7139



二次元コードから提出

② 第4次荒尾市男女共同参画計画(素案)

全ての人対等な立場でいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指し策定した第3次男女共同参画計画が本年度末で終了するため、第4次荒尾市男女共同参画計画を策定します。

期 12月15日(水)~令和4年1月14日(金)(当日必着)

提出先 〒864-8686(住所不要)

総務課 男女共同参画推進室

✉ danjo@city.arao.lg.jp

☎ 63-1139 FAX 62-3270



二次元コードから提出

■閲覧場所

各担当課、市役所総合案内(1階)・情報公開コーナー(2階)、市民サービスセンター(あらおシティモール2階)、市ホームページ、メディア交流館、小岱工芸館、みどり蒼生館、万田炭鉱館、文化センター、中央公民館、働く女性の家(②のみ) ※施設で閲覧される場合は、開館日や開館時間に閲覧してください。

■意見提出方法

所定の意見書に必要事項を記入し、各担当課へ持参・郵送・ファックス・Eメール・二次元コード(荒尾市電子申請サービス)のいずれかで提出(持参の場合:受付時間 平日8時半~17時15分) ※電話や口頭での意見の提出は受け付けません。寄せられた意見は個別に回答できません。

■意見を提出できる人

- ◎市の区域内に住所を有する人
- ◎市の区域内に事務所・事業所を有する個人や法人その他の団体
- ◎市の区域内にある事務所・事業所に勤務する人
- ◎市の区域内に存する学校に在学する人
- ◎その他実施機関が行う事務事業に利害関係を有すると認められるもの

みんなのやる気が円陣に表れています!



3年生女子のダンスリーダーの素晴らしいリーダーシップ!



3年男子もノリノリ!



みんなで自主的に合唱コンクールの練習!



オンラインによる生徒総会。提案者も聞く人も真剣でした。



夏休みに出身小学校に向向き、小学生に勉強を教えています。

わたしたちの学校自慢

ここがじまん!

今月の学校自慢

荒尾海陽中学校



荒尾海陽中学校は生徒数約500人の中規模の中学校です。海陽中生を一言で表すと、「何事にも積極的」「学校行事に燃える」そんな生徒たちがたくさんいます。

体育大会では、先生と生徒のリーダーが事前に入念な打ち合わせを行い、生徒たちが集団をリードしていきました。

合唱コンクールでは、朝・昼休み・夕方と学校中で自主的に練習が行われ、レベルの高い合唱ができあがりました。最後には各クラスの代表が取り組みを振り返り、涙あふれる時間となりました。

今は3年生が自分の進路に向かって学習に向き合いながらも「想いを繋ぐ」プロジェクトとして、さまざまな良き伝統を1・2年生に引き継いでいく取り組みを行っています。

生徒が選んだうちの学校自慢!

生徒が行事に積極的で個性あふれる学校です。体育大会は生徒会主催で行い、中でもダンスは3年生全員で一斉懸命取り組みました。当たり前のことを当たり前で頑張ることを良き伝統として引き継いでほしいです。



生徒会長 3年生 伊東 波音さん

休日は実家の河内のみかん農家の手伝いをしています



「海陽中の生徒は、とても人懐っこいけど恥ずかしがり屋の部分もあるので、ひとりひとりの良いところを生かしていきたい」と話されました。

久家先生は、「一目見て「体育の先生」とすぐに分かるようなエネルギーがみなさんにはあります。生徒に対し「社会ではコミュニケーション能力が大切。それには、笑顔・言葉の大切さ・大きな声が必要」と話し、先生自身も日頃から心がけているそうです。



くげ ひろき 久家 博樹先生